EA163HA(エアーベルトサンダー)取扱説明書

Ver1.1

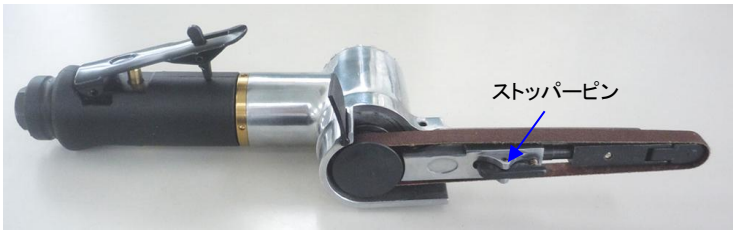
この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂く為にも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

◆仕様

- ●全長…300mm
- ●回転数…18,000rpm
- ●エアー消費量…230ℓ/min
- ●吸入口…Rc(PT)1/4”(プラグ付)
- ●使用ホース内径…8mm
- ●騒音値…79.5db(A)ISO15744
- ●重量…800g
- ●使用圧力…0.6MPa
- ●使用コンプレッサー…2.2kw
- ●ベルトサイズ…10x330mm
  (EA163K-1～-3、-60～-400を使用して下さい)
- ●三軸合成値…2.5 m/s²ISO22867

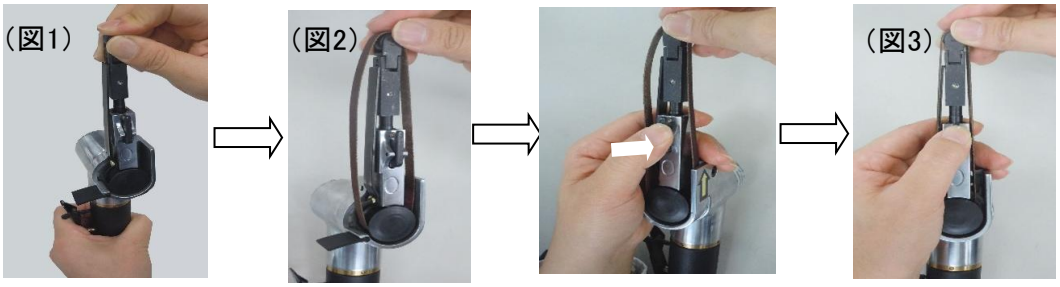
◆付属品・・・ベルト3本(粒度:#80・#100・#120 各1本)
六角棒レンチ1.5mm/4mm各1本

◆製品外観



◆ベルトのセッティング

1、プーリー部を本体方向へ押し込みます。カチッと鳴るまで押し込んで下さい。(図1)
2、消耗したベルトを外し、新しいベルトをセットします。(図2)
3、ストッパーピンを押してカチッと鳴れば、テンションバーは上に上がります。
4、ベルトがピンと張れば完了です。(図3)



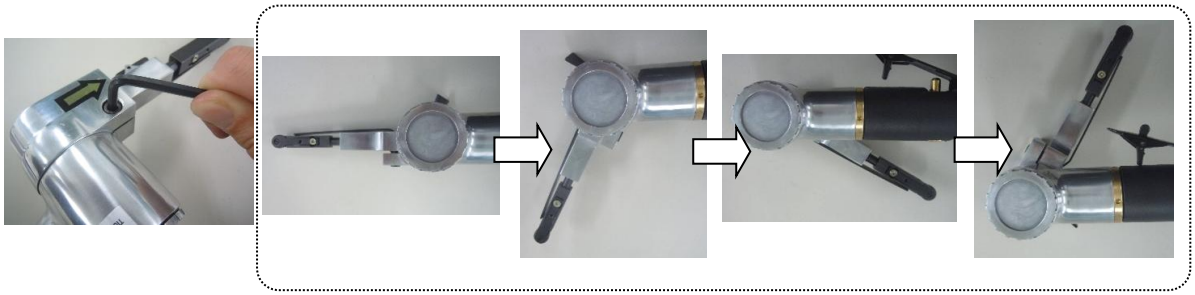
◆トラッキングの調整

ベルトがプーリーの中心にこない時は、
(+)ドライバーを使用し、プーリーブラケットの
ネジを緩めたり締めたりして、
中心位置へくる様に調整して下さい。

◆使用方法
・エアラインに接続し周囲の安全を確認の上、トリガーを握り込んで下さい。
　トリガーを握り込んでいる間は、ツールが作動します。
　停止はトリガーを離してから数秒かかります。
　安全の為に、ツールが完全に停止した後で保管下さい。

◆安全について
ご使用中、かなりの粉塵等が発生しますので、できうる限りの安全防護（安全メガネ、防塵マスクなど）をお勧めします。

◆首振り調整機能
付属の4mm六角棒レンチでネジを緩めると、ベルト部が360°　可動します（下図）
作業環境等により調整しご使用下さい。危険を伴う位置では使用しないで下さい。

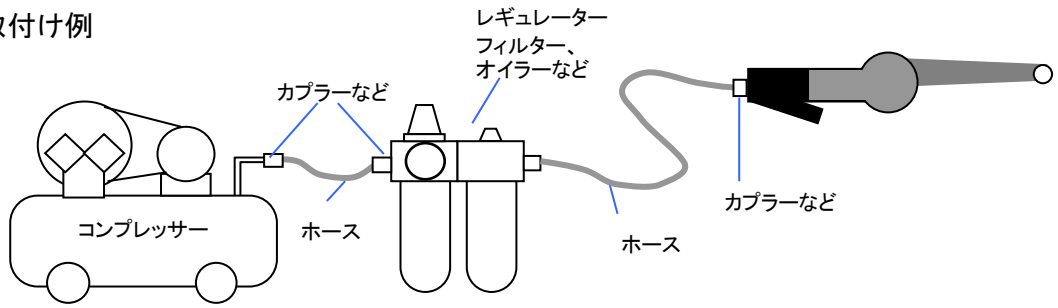


◆騒音について
・ご使用中、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等で定める騒音規制値以下で使用して下さい。
　必要に応じて、防音壁等で遮音処置を取って下さい。

◆メンテナンス
工具を接続する前に（ISO VG 10）くらいのスピンドルオイルを接続口から
4～5滴垂らして下さい。
粘度の高いオイルを注しますと、機能が十分発揮されなくなりますので、
もし、誤って粘度の高いオイルを注した時は、洗い流して適正オイルを注して下さい。
3～4時間の作業毎にオイルを注すと、工具が長持ちします。

◆保管
・使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルを注して下さい。
・使用しない時は、エアーホースから工具を外して下さい。
・保管に際しては、湿気のある所は避けて下さい。
　湿気があると工具内部にサビが発生します。

● 取付け例



⚠ 安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。
説明された用途以外の使用は厳禁です。

・作業をする前に砥石が確実に装着している事を確認してください。
・適正な圧力と適正な使用スピードが最良の作業効率をもたらします。
　コンプレッサーの適性ゲージ圧力は0.6MPaです。
・エアーツールとコンプレッサーの間のホースは内径8㎜をご使用ください。
　エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイラーを設置してください。
・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気で掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。
　ホースを延長して使用するほど（7.5m以上）、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
・作業時は必ず保護めがね、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
・作業現場は必ず換気をよくしてください。
・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。
・絶縁されてない為、電源に接触しないように注意して作業してください。
・爆発性雰囲気のある環境下では、エアーツールは使用しないでください。
・また圧力のかかったホースには注意してください。
・作業対象物は必ず適正な工具に固定してください。
・過度のエアー圧力をツールにかけたり、速いスピードでの空回しは工具の損傷の原因になります。
・作業場の照明は充分明るくしてください。
・作業場には子供を近づけないでください。
・無理な使い方はしないでください。作業にあったエアー工具を使用してください。
・作業時は作業に適した服装をしてください。
　だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は、回転部に巻き込まれます。
　長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。
　手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
・作業工具は注意深く手入れをしてください。
　エアーホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。
　握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
・次の場合はスイッチを切りエアーホースを外してください。
　　① 工具の取り付け、交換　　② 作業終了時　　③ 異常を感じたとき
・エアー工具を運ぶときは、エアーホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
・エアー工具を使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないかを確認してください。
・改造はしないでください。本機の寿命を著しく損ねる場合があります。また、ご使用者がケガをする場合、作業行程に支障を来たす場合があります。
・振動工具の三軸合成値について
　仕様欄に数値を記載しています。
　日振動ばく露量A（8）は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。
　https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-2a.pdf

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL(06)6532-6226　FAX(06)6541-0929

24.Nov